

平成21年4月27日

各位

会社名 株式会社 池田銀行
 代表者名 取締役頭取 服部 盛隆
 (コード番号 8375 東証・大証第1部)
 問合せ先 企画部長 南地 伸昭
 (TEL 072-751-3526)

平成21年3月期の有価証券評価損及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、取得原価に比べ時価あるいは実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成21年3月期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

また、平成21年2月2日の第3四半期決算発表時に公表しました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年3月期における有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成21年3月期第4四半期会計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)の有価証券評価損の総額(=イーロ)	4,927百万円	4,936百万円
(イ)平成21年3月期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の有価証券評価損の総額	35,349百万円	35,382百万円
(ロ)直前四半期(平成21年3月期第3四半期)累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)の有価証券評価損の総額	30,422百万円	30,445百万円

- (注) 1. 四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。
 2. 当行の決算期末は、3月31日であります。
 3. 「その他有価証券」で時価のあるもののうち、時価が取得原価に比べて30%以上下落し、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについて減損処理を行っております。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成20年3月期末の純資産額	66,882百万円	68,272百万円
(A/B×100)	7.4%	7.2%
(イ/B×100)	52.9%	51.8%
(C)直近5事業年度の経常利益額の平均 (平成16年3月期から平成20年3月期まで)	6,407百万円	6,652百万円
(A/C×100)	76.9%	74.2%
(イ/C×100)	551.7%	531.9%
(D)直近5事業年度の当期純利益額の平均 (平成16年3月期から平成20年3月期まで)	3,944百万円	3,865百万円
(A/D×100)	124.9%	127.7%
(イ/D×100)	896.3%	915.3%

2. 平成21年3月期の通期業績予想の修正

(1) 平成21年3月期通期業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	連結ベース			単体ベース		
	経常収益	経常利益	当期純利益	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成21年2月2日公表)	83,000	△19,000	△19,000	77,000	△19,000	△19,000
今回修正予想 (B)	83,000	△34,000	△37,000	77,000	△34,000	△37,000
増減額 (B-A)	—	△15,000	△18,000	—	△15,000	△18,000
増減率 (%)	—	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	88,452	△64,118	△54,968	81,966	△64,319	△55,015

(2) 修正の理由

<単体ベース>

平成21年3月期通期業績見通しは、貸出金が事業性貸出を中心に順調に増加し、有価証券収支が改善するなど、資金運用収支は好調に推移し、コア業務純益は前回予想比+30億円の180億円を見込んでおります。

しかしながら、欧米の金融不安に端を発した金融市場の大混乱により市場の低迷が継続したため、有価証券関係損失は前回予想より104億円増加して384億円となりました。また、更なる景気悪化に備えて予防的な不良債権の引当処理を行ったため、与信コストは前回予想より84億円増加し124億円となりました。

この結果、誠に遺憾ながら、経常損失340億円、当期純損失370億円を計上する見込みとなり、業績予想を修正いたします。

自己資本比率につきましては、増資による効果もあり、9.5%程度と十分な水準を維持する見込みです。

なお、本件処理により資産の健全性と収益力はともに向上し、平成21年度は業績回復及び復配に努めてまいります。

<連結ベース>

主に単体ベースの修正の影響によるものです。

(ご参考)

平成21年3月期業績(単体ベース)の見込みについて

(単位:億円)

	決算見込み	前回発表予想 (平成21年2月2日公表)	増減	平成20年3月期 (実績)
コア業務純益	180	150	+30	97
有価証券関係損益	△384	△280	△104	△635
うち有価証券減損(△)	353	300	+53	225
不良債権処理損失(△)	124	40	+84	95
経常利益	△340	△190	△150	△643
当期純利益	△370	△190	△180	△550
自己資本比率	9.5%程度	10%台		10.75%
有価証券含み損益	△56	—	—	△75

(単位:億円)

	決算見込み	20年3月期	増減
預金残高	22,537	21,911	+626
うち個人預金	18,612	18,066	+546
貸出金残高	16,661	15,994	+667
住宅ローン	4,868	4,617	+251
事業性貸出	11,629	11,200	+429
有価証券残高	6,465	3,576	+2,889

以上